

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア

藤原紀香さん、要潤さん、チョン・ウソンさん、河瀬直美さんら 豪華審査員らがレッドカーペットに登場 アカデミー賞短編部門につながるグランプリはイランの新鋭監督に決定 ミュージックShort部門の発表ではKANA-BOON、GLAYも登壇

今年で17回目の開催となる米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」のアワードセレモニーが、6月15日(月)、渋谷ヒカリエホールにて行われました。

レッドカーペットには、審査員の沖方丁さん、奥田瑛二さん、要潤さん、河瀬直美さん、チョン・ウソンさん、藤原紀香さん、フェスティバルアンバサダーのLiLiCoさんらが登場。グランプリ作品は、アジア インターナショナル部門から、イランのレザ・ファヒミ監督作品『キミのモノ』に決定しました。グランプリ作品は、次年度(2016年2月に開催される)第88回米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象作品となります。

セレモニーでは、その他のオフィシャルコンペティション、CGアニメーション部門の優秀賞、音楽から生まれたショートフィルムを上映した「ミュージックShort部門」からUULAアワードが発表され、シネマチックアワードの発表では、KANA-BOON、GLAYも登壇。また、SSFF & ASIAとAKB48がコラボした「AKB × ShortShorts」projectでは、北原里英さん、茂木忍さん、中西智代梨さんも駆けつけるなど、多くのゲストがセレモニーを彩りました。

(話題賞を除く)各受賞作品は、6月17日(木)より、本映画祭と連動したショートフィルム専門映画館ブリリア ショート ショートシアター(横浜・みなとみらい)にて上映を予定しています。また、6月24日(水)から6月26日(金)の3日間限定でユナイテッドシネマ豊洲・豊橋・福岡でも受賞作品を含む特別セレクションを上映いたします。

※受賞作品の詳細に関しては別紙をご参照ください。

SSFF & ASIA 2015 グランプリ作品 アジア インターナショナル部門 優秀賞(東京都知事賞)



【監督経歴】

脚本家、監督。テヘランのスーレ美術大学で映画制作を学んだ後、監督業に専念。本作は、自身2作目のショートフィルム。

【上映歴】

テヘラン国際映画祭2014(イラン)
 最優秀作品、最優秀監督、最優秀脚本賞

『キミのモノ』(Cloudy Children)

監督:レザ・ファヒミ / イラン / 18:04 / ドラマ / 2014

ある小さな街で、2人の少年が手に入るものがない物たちを、自分だけのものだと言い張っていたが、やがて、あらゆる手の届かないものを分かち合うこととなる。

■オフィシャルコンペティションの応募数と上映数(米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象部門)

・インターナショナル部門	応募数: 3,436作品(国数:75カ国)	上映数: 45作品(国数:26カ国)
・アジア インターナショナル部門	応募数: 760作品(国数:20カ国)	上映数: 18作品(国数:10カ国)
・ジャパン部門	応募数: 363作品	上映数: 22作品

■優秀賞賞金:60万円

※優秀賞はオフィシャルコンペティション各部門から1作品に贈られる部門別の最高賞。また、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門の優秀賞には東京都知事賞が贈られます。

■審査員(五十音順/敬称略):

沖方丁(作家)、奥田瑛二(俳優・映画監督)、要潤(俳優)、河瀬直美(映画監督)、チョン・ウソン(俳優・映画監督)、藤原紀香(女優)

インターナショナル部門 優秀賞



『父親』(Father)

監督: ロットフィ・アコー / チュニア / 18:00 / ドラマ / 2014

チュニスでタクシードライバーをしているエディは、ある夜、産気づいた妊婦を病院まで乗せる。このつかの間の出会いが予想外の悲劇を生み出し、2人にとって人生を一変させてしまう。

【監督経歴】

作家、俳優、映画監督として活躍する傍ら、パリとチュニスで演劇を制作する。25以上の演劇をプロデュースし、2006年パリでインスタレーション"Nuit Blanche"を発表。昨年冬、初長編作品“Brûle”を撮影した。

【上映歴】

中東映画祭 2014 (UAE)
最優秀アラブ映画
クレルモンフェラン国際短編映画祭 2015 (フランス)観客賞、審査員特別賞
Rencontre des Réalistes 2015 (チュニア)第一位

ジャパン部門 優秀賞 (東京都知事賞)



【監督経歴】

1968年沖縄県名護市生まれ。長編映画『アコークロー』(2007年)で監督・脚本デビュー。その後TV『琉神マブヤー』脚本・監督、短編『ニービチの条件』監督・脚本、映画『琉球バトルロワイアル』監督と県内映像業界を牽引する。

【上映歴】

沖縄国際映画祭 2015

『ころ、おどる -Kerama Blue-』(Kerama Blue)

監督: 岸本 司 / 日本 / 19:58 / ドラマ / 2015

座間味村の民宿に外国人夫妻がやってきた。言葉を理解しなくても次第に民宿の人と仲良くなる妻に対し、宿にも島の環境にも馴染めず不機嫌な夫。固く閉ざした彼の心は海の中で、ある事に気づかされる。

CGアニメーション部門 優秀賞



【監督経歴】

ペルーとチリの血を引く、スペイン在住のイラストレーター、アニメーター、映画監督。空想上のマシーンや宇宙などを非常に好み、ショートフィルムを多く制作。『ベンディート・マシン』シリーズは数々の国際映画祭で受賞する。

『ベンディート・マシン V - 引金を引け!』(Bendito Machine V - Pull the Trigger)

監督: ジョシー・マリス / スペイン / 11:54 / アニメーション / 2014

紛争に巻き込まれてしまった異邦人は、嵐が過ぎ去るまで辛抱強く待つべきだったのだ。

CGアニメーション部門

国内外のコンテンツ業界に多数のクリエイターを輩出しているデジタルハリウッドとのコラボレーションにより、今年5年目を迎えたCGショートフィルムの特集。世界29カ国より217作品の応募があり、日々進化し続ける様々なCG技術を駆使した俊作20本(9ヶ国)が上映されました。

総応募数: 217 上映数: 20 作品(特別上映作品を除く) 上映作品の参加国と地域: 9 賞金: 60万円

審査員 ※敬称略

水島精二(アニメーション演出家)、山崎貴(映画監督)、杉山知之(デジタルハリウッド大学 学長)

■ミュージックShort部門とは

ミュージックShort部門は、エントリーされたアーティストの楽曲をもとに、クリエイターが創り上げたオリジナルショートフィルムと、レコード会社が制作するアーティストのオフィシャルミュージックビデオの中から、ショートフィルムの視点でセレクトされたストーリーやドラマ性を感じる「シネマ的」な作品を紹介する部門です。

・UULAアワード

アーティストの楽曲を元に制作、応募されたショートフィルムの中で、最もクリエイティブ性の高い作品に贈られる賞。
賞金：30万

・シネマチックアワード

レコード会社が制作するアーティストのミュージックビデオの中で、最もシネマ的な作品に贈られる賞。
賞金：30万円

ミュージックShort部門 UULAアワード



『しおり』(SHIORI)

監督：藤原伊織 / 日本 / 9:59 / ミュージックShort / 2014

アーティスト：種ともこ 楽曲：「笑ってて」

事故で記憶を失くした哲夫の心に自分の存在を取り戻すため、詩織は自分の写真でしおりを作り、それを文庫本に挟んで毎日、彼に届け続ける。

【監督プロフィール】

東映で時代劇の撮影に携わった後、脚本家・演出家として独立。以降、舞台演出や演芸台本を中心に活動。2013年には監督・脚本を務めた短編「Holiday」がハリウッドのチャイニーズシアターにて上映された。

【アーティスト：プロフィール】

1985年「You're The One」でCBSソニー(当時)からデビュー。作詞／作曲／アレンジまでトータルでプロデュースする女性アーティストとして異彩を放つ。

ミュージックShort部門 シネマチックアワード



『生きてゆく 完全版』(Ikiteyuku Full ver.)

監督：山岸聖太 / 日本 / 25:00 / ミュージックShort / 2014

アーティスト：KANA-BOON 楽曲：「生きてゆく」

海辺の町。夢を追い、東京へと出て行ったバンドマンの彼と、地元に残った女優志望の彼女。思い出の海辺で再会した彼と彼女。二人で過ごした日々と、それぞれの現在(いま)。夜の波音の中、想いが交錯する…。

【監督プロフィール】

1978年生まれの映像ディレクター。2008年よりフリーランスで活動を開始し、これまでにSAKEROCK、ユニコーン、ASIAN KUNG-FU GENERATION、乃木坂46らのビデオクリップを制作。星野源、大原大次郎と結成した映像制作ユニット山田一郎でも活躍中。

【アーティスト：プロフィール】

大阪・堺出身の4人組ロックバンド。2013年9月メジャーデビュー。各地ロックフェスを席卷し、瞬く間に頭角を現す。今年1月、2ndアルバム「TIME」をリリース。ティーンを中心に熱烈的な支持を集める、若手最注目バンド。



『疾走れ！ミライ』(HASHIRE MIRAI)

監督: ARATA / 日本 / 18:37 / ミュージックShort / 2014

アーティスト: GLAY 楽曲:「疾走れ！ミライ」

夢に向かって走る少年達のストーリー。

【監督プロフィール】

1974年生まれ。2000年、Full Of Harmonyのリーダーとして音楽活動を開始、ビクターエンターテインメントよりデビュー。2008年、音楽に留まらず映像作家としても活動を始める。ミュージックビデオを中心に番組、LIVE、LIVEサービス映像等幅広い映像作品を手がける。

【GLAY :プロフィール】

1994年のメジャーデビュー以降、CDセールス、ライブ動員数など常に日本の音楽シーンをリードし続け、数々の金字塔を打ち立ててきた日本のロックバンド。

Fashion Short of the Year 2015

SSFF & ASIAは、近年、ファッションブランドの制作したショートフィルムが脚光を浴びていることに注目し、2014年、「Fashion Short of the Year」というアワードを新設しました。この賞は、ファッションと関連したショートフィルムの中で、最もシネマ的な作品に贈られます。

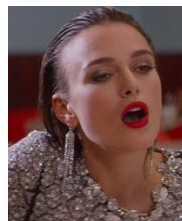
アカデミー賞主演男優賞を受賞のエディ・レッドメインほか、英国を代表する総勢44名の俳優たちが集結！

『ハリウッド・ポートフォリオ』(Hollywood Portfolio)

監督: Jason Bell / イギリス / 6:57 / ドラマ / 2015

イギリスがハリウッドに宣戦布告?! 第二次世界大戦風の映像フッテージとナレーションで描かれた本作品は、アメリカの雑誌「Vanity Fair」御用達のカメラマン、ジェイソン・ベルが監督を務める。

Vanity Fair にてハリウッドで活躍する俳優たちを特集した「Hollywood Portfolio」を記念して作られた。



エディ・レッドメイン

ベネディクト・カンバーバッチ

オーランド・ブルーム

キーラ・ナイトレイ

ケネス・ブラナー

ジュディ・デンチ

ベストアクター/アクトレスアワード

オフィシャルコンペティション作品の中から優秀な俳優と女優に贈られる賞

部門		作品タイトル	受賞者
ジャパン部門	ベストアクター	『小春日和』(A Warm Spell)	福島慎之介
	ベストアクトレス	『きらわないでよ』(camouflage)	一柳みのり
アジア インターナショナル部門	ベストアクター	『白と黒』(Cloud & Mud)	Yu Wang
	ベストアクトレス	『海の上の宮殿』(The Palace On The Sea)	Wu Ke-xi
インターナショナル部門	ベストアクター	『我慢できない』(All The Pain In The World)	Peter Faulkner
	ベストアクトレス	『新しい家族』(The Salt of the Earth)	Nelli Tsay

オーディエンスアワード

コンペティション作品の中から、各部門ごとに来場者の投票で選ばれる観客賞

賞金:20万円

※受賞作品はオフィシャルサイトにて発表いたします

■ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催:東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、プリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ30万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。

■映画祭のあゆみ

- 1999年 アメリカン ショートショート フィルムフェスティバル開催
- 2002年 エジプシャンシアターにてロサンゼルス開催
- 2004年 ショートショート フィルムフェスティバル アジア 開催
米国アカデミー賞公認映画祭に認定
- 2005年 名称を「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」へ統一
「愛・地球博」にて、ショートショートフィルムフェスティバル EXPO 開催
- 2006年 ショートショート フィルムフェスティバル メキシコ初開催
- 2008年 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 10周年
ショートフィルム専門映画館「プリリア ショートショート シアター」を横浜みなとみらいにオープン
2001年観客賞受賞のジェイソン・ライトマン監督の長編映画『JUNO』が全米で2億ドル突破のヒット！
- 2010年 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア in マレーシアを初開催
- 2011年 東日本大震災の復興を応援するためのチャリティショートフィルムを制作、収入の一部を寄付
- 2012年 1999年の初年度開催にちなみ6月4日を「ショートフィルムの日」に制定(日本記念日協会に認定)
- 2013年 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア15周年
日本劇場初公開作品含む15人の著名監督らのショートフィルム作品を上映
SSFF & ASIA 2009ジャパン部門優秀賞(東京都知事賞)の落合賢監督の『タイガーマスク』が公開
- 2014年 2012年のグランプリを受賞した平柳敦子監督による『Oh Lucy!』(主演:桃井かおり)
カンヌ映画祭シネフォンダシオン部門で日本人初の2位となる



(写真、左から)

- ・1999年、アメリカ大使館にて行われたパーティーにて、SSFF & ASIA代表の別所哲也とジョージ・ルーカス監督
- ・2008年にオープンしたショートフィルム専門映画館プリリア ショートショート シアター
- ・SSFF & ASIA 2015 オープニングセレモニー

【本案内に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局(ユース・プランニング センター内)
担当: 白岩(070-6469-1245)・音部(090-2316-7879) TEL: 03-3486-0575 / FAX: 03-3499-0958
E-mail: ssffasia2015@yppcr.com

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

担当: 高橋(090-3049-1284) 加賀矢間
TEL: 03-5474-8203 / FAX: 03-5474-8202 E-mail: press@shortshorts.org